

## 研究協力をお願い

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学横浜市北部病院精神科救急病棟におけるうつ病プログラム参加者に関する調査

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2021年8月1日から2026年2月28日に当院精神科救急病棟うつ病プログラムに参加された方

### 2. 研究目的・方法

精神科救急の課題は、薬物療法を中心とした急性期症状の消退と心理社会的治療による再発防止です。当院メンタルケアセンターの入院患者さんは、気分障害・ストレス関連障害で約半数を占めており、うつ状態の病態を示す患者さんが多いです。先行研究では、疾患教育と認知行動療法的介入の有効性が報告されております。当院では2021年8月より精神科救急病棟にて集団療法を開始しました。

そこで、本研究では集団療法に参加された患者さんを対象とし、入院前の治療経過、社会背景、社会資源の利用状況、プログラム参加前後で取得した各種指標(SDS・HAM-D・GAF・RAS・SBI-J)、プログラム参加中の患者さんの発言を調査することで、プログラムの実践を振り返るとともに効果測定を実施したいと考えます。

本研究では、精神科救急病棟に入院中の患者さんのデータを取得します。患者さんのデータは、「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。

### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2026年3月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、入院期間、入院形態、退院先、入院回数、直近退院日、初診年齢、罹病期間、診断、通院継続状況、入院からプログラム導入に至るまでの期間、物質乱用有無、各種社会資源利用状況、プログラム参加前後の各種指標(SDS・HAM-D・GAF・RAS・SBI-J)、プログラム参加中の患者さんの発言を調査します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院総合サポートセンター

研究責任者：山本 和弘

住所：224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7000